

# 直言

懸案の日台空路が再開されることになった。時期が時期だけに中国の反応が注目されていたが、やはり過激の「青天白日旗」をめぐる宮沢外相発言を非難するあたりで藤承志氏の厳しい見解が表明された。中国にたいしては、民間関係としての日台関係を維持してゆかねばならない理由を今後とも根拠よく説

明してゆくべきであろう。ところで、日台空路の再開に伴って、わが国の就航会社をどうするか問題になっている。日航の朝田社長は早くも一〇〇％日航出資の子会社を「ミー」として設立するのが最適かつ当然

である旨を主張していることが報せられた。赤字に悩む日航が「ドル箱」といわれた日台空路の断絶に切歯臨臨し、その再開を強く望んでいたこと、日中空路の方は、お客が一人もいなくて乗務員だけで就航する日もあ

ったことなごからすれば、日航の立場もわからないではないが、しかし、かつて日中国交正常化から日中空路開設にいたる前後の日航首脳が発言などを記憶する者としては、いさゝか虫

## 日航のおごり

なか じま  
中嶋 嶺 雄

う。 たしかに日航はわが国のナショナル・キャリアであるが、私などは、しばしばそれを利用していながら、あえて外国便を使うことも多い。外国人にはべたべたサービスするかわりに、同

胞には「フーン」といった態度に出るステューデスやわれこそは、国際人々といった鼻もちならぬ態度の日航職員やゲランド・ホステスに出会うことが依然としてあるからである。私

が多いが、そのよつな国際人。にだけはなるなかれと戒めている次第である。 一方、先日も福岡空港へ行ってみると、東亜国内航空は、そのカウンターからして不便な場所に甘んじているだけに、機内のサービスはいじらしいほどだ

った。全日空は、岡崎嘉平太氏に敬意を表して日台空路にかかわることなどしない方が名實たすれば、この際、判官最悪ではないが、日台空路には、その名称からしても東亜国内航空が就航したらどうだろうか。 以上、航空業界や航空行政にはなんらの利害関係をもたない庶民の気持ちである。念のため。

(東京外大助教授)